

女子硬式テニス部

都立対抗テニス大会 優勝

7月14、15、21、22日に行われた第62回都立対抗テニス大会において、国立高校女子硬式テニス部が16年ぶり二度目の優勝を果たしました。(参加校98校)

昨年7月の新チーム発足時、1学年上がいない78期(現2年)は1年生13人だけ。高校からテニスをはじめたメンバーがほとんどでしたが、志は大きく、憧れの76期の先輩方が果たせなかった「都立戦優勝」を1年間の目標に設定しました。しかし、夏はたくさんの学校に胸を借りましたがことごとく敗れ、前途多難なスタートでした。1年間を通して、朝練・昼練・放課後練と一生懸命努力をしても結果が出ないことがほとんどで、冬にはチームの温度差から何度も「ぶつかりあい」のミーティングを繰り返すことになりました。

女子硬式テニス部では「enjoy」ではなく、「enrich」を合言葉に活動してきました。たとえすぐに結果が出なくても、土壌を豊かにするために「耕し続ける」という意味です。

4月になり79期が13人入部し、ほんの少しずつですが結果が出始め、目標としてきた「都立対抗テニス大会」を迎えました。大会中もできないことは多く、途中で負けてもおかしくない試合が続きましたが、1年間失敗しそれでも耕し続けてきた諦めない力が様々な運を呼び、試合に出るレギュラーだけでなく、応援やサポートをしてくれたメンバーも含めて、チーム国立として「1本の矢」になれたことで、格上の学校に勝ち優勝することができました。

「優勝確率5%」と言われていた目標を達成しましたが、改めて感じるのは、「国高女硬という土壌」の有り難さでした。歴代の先輩達が試行錯誤し流した悔し涙が、今の恵まれた練習環境や高いレベルを創ってくれたお陰で、今の私たちや今回の優勝があります。先輩OGの方々、自分達の練習時間を割いて練習に付き合ってくれた男子硬式テニス部やOBの方々、そして応援して下さいましたすべての方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

1、2年だけのチームなので、そのままのメンバーで新たな出発となります。優勝したといっても、まだまだ未熟で伸びしろ満載のチームだと考えています。

去年の私達を超えられるよう、今年も全力で耕し続けます。引き続き応援よろしくお願い致します。

